



# 有限会社近藤建築

業種	建設業	事業所所在地	岐阜県羽島郡岐南町	資本金	3,000千円
		売上高	～100,000万円	従業員数	35名

 	被承継者（左）		
	近藤 隆	62歳	※承継時
	承継者（右）		
	近藤 裕貴	33歳	※承継時

事業承継を行った時期	被承継者と承継者の関係	
2018年4月	子ども	
承継前の主たる事業の内容	承継前の主たる事業の課題	
型枠工事、総合建設工事、基礎総合工事、一般リフォーム工事、店舗改修工事、新築注文住宅・外構工事等を請負う総合建設業	・既存商品・サービスの利益の拡大（売上原価や販管費の改善）	既存事業の型枠工事の生産性の向上と顧客からの要望が多くなっているオーダーメイド建具工事への対応

事業承継を実行するまで		
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備
承継実行の 12年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安
公共工事の減少やリーマンショックなどの社会情勢の変化で売上高が減少し、経営状況が厳しくなった。型枠工事の修行のため他の会社に属していた承継者が戻ることとなり、会社の継続について考えることとなった。	世の中の状況が変わり、型枠大工のみの事業内容では自社の存続は難しいと感じ、新しい分野への進出をしなければならぬと話し合った。	経営状況が厳しくなった時の事業承継であり、これからの不安や負担を背負っていかせることが不安でした。
	関係者との調整	承継者の承継に対する不安
	創業から培った技術と堅実な仕事を守りながら、承継者の夢を原動力に守りながら攻める経営を構築していった。	売上高が減少して会社の経営状況が厳しい中、事業承継に躊躇する気持ちもあった。

**これに一番苦労した！**

「社員の世代交代」  
 当社には1級型枠技能士や有資格者が多数在籍するため、他社では施工が困難な物件であっても図面に忠実で丁寧かつ精度の高い仕上がりは、多くの元請け企業から高い評価を得てきた。建設業に携わる職人の多くは一本気質の傾向にあるように、当社も例外ではなかった。そのため、先代からの熟練社員と事業承継後に採用した新分野担当の社員との調和に気を使いました。

事業承継について相談したこと	
相談した機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
その他	自社内で承継実行を話し合ったのち、税務手続き、登記関係諸手続きを当社顧問税理士に行っていただく。手続き完了後、取引先や関係金融機関に挨拶回りを行った。
いつから相談？	
承継実行の 2年前	
相談のきっかけ	
その他	

## 経営革新等に係る取組の標題

### 顧客ニーズの多様化に対応するための設備導入と生産性の向上

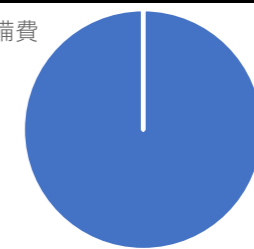
経営革新等に係る取組の内容	新役務の開発又は提供
---------------	------------

●当社は昭和31年に設立した建設会社で、主に型枠工事、新築工事、リフォーム工事、外構工事、造成工事等を請負っている。近年は大規模なコンクリート建造物の新設工事が減少しているため、一般住宅の新築工事やリフォーム工事等を請負う総合建築事業分野へ進出したが、1984年に承継者が代表交代した後も「既存事業の型枠工事の生産性の向上」と「顧客からの要望が多くなっているオーダーメイド建具工事への対応」という二つの経営課題があった。これらの課題解決策として、本補助金を活用して「既存設備の老朽化に伴う、最新のレーザー型製材機（パネルソー）を導入」する計画を立てた。

●最新のパネルソーの導入により、今まで外注に頼っていたオーダーメイド建具工事の内製化と生産性の向上が実現できた。さらに、パネルソーは型枠工事の製材加工にも利用できることから、型枠工事の業務効率化に加えて従業員等の負担軽減を図ることができるため、既存事業の収益性を高めつつ、新規事業での売上高増加を目指すことができる。

●また、当社の強みである長年培ってきた技術力（型枠工事）と新たに導入したパネルソーによる内部造作（施工事例）を積極的にPRしていく必要がある。そのため、内部造作工事に特化したホームページ制作を行い、SNS（Line・Instagram・Facebook・YouTube等）を活用して継続的に情報発信を行っていく。



地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
創業当初から地域の雇用創出・維持を推進してきた。また当社の材料仕入れ先は全て地域及び近隣地域の事業者である。地元の顧客に安心・安全な建造物を提供し続けるためには、地域特性に熟知した近隣取引先との綿密なコミュニケーションを保ち続けることが重要である。また、サッカークラブを運営して岐南町の地域活性化に寄与している。将来、当社の技術を生かして岐南町にサッカースタジアムを建設していきたいと考えている。	<p>■ 設備費</p>  <p>経費の主な使い道</p> <p>設備費：レーザー型製材機（パネルソー）導入費</p>

**認定経営革新等支援機関の名称：岐阜県商工会連合会（岐南町商工会）**

**認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容**

<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input checked="" type="checkbox"/> 補助事業の実施
---	---	---	---

岐阜県のプッシュ型事業承継支援を利用し、経営理念や経営ビジョン、数値計画から行動計画に至るまでの策定を行い、サポートしていただきました。課題と解決策、今後の方針を明確した。さらに岐阜県の持続化補助金を活用してホームページをリニューアル。今回の補助事業をPRするための販路開拓も併せて支援していただきました。

### 今後に向けて～次の目標

2020年から2023年に向けて	1年目はパネルソーの導入と作業従事者への教育訓練、HPを活用して内部造作加工のPRを行っていく。収益予想としては損失計上となる見込みであるが、2年目以降は、既存取引先へのPR強化や新規取引先開拓など営業活動を強化して利益を確保していく。売上高150%UPは目標ではありますが、実現可能であると思っています。
売上高 150 %UP	

### これから事業承継に取り組む事業者の方へ

被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
会社を設立し、培った技術を大切に堅実な仕事を行っていた先代から2代目として会社を守り、3代目に引き継ぎました。先行きの見えない大変な時代、事業を引き継がせることに不安を抱いて見える方もありませんが、承継者を信頼してあげてください。自分たちにはない発想で乗り越えてくれます。	事業承継は、創業から時代の流れが変わる中、受け継いだものを守りながらも新たな攻めの姿勢が大切だと思います。その守るべき点と攻める点を同時に叶える設備投資（パネルソーの導入）を事業承継補助金の活用が助けてくれました。自分の夢の実現に近づくことができ、今回の施策に大変感謝しております。